

**教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価に関する報告書**

対象年度 平成21年度

平成23年2月

和歌山市教育委員会

目 次

はじめに	1
1 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の実施について	1
2 点検及び評価の実施方法について	1
平成21年度教育委員会の活動状況	4
1 平成21年度教育行政方針	4
2 教育委員	5
3 教育委員会会議の開催状況	5
4 教育委員会会議議決案件	6
5 教育委員会会議以外の主な活動状況	8
6 教育委員会の活動状況の評価	9
点検及び評価	10
1 学校教育の充実	10
学校の教育力の充実	
幼児教育の充実	
小・中学校教育の充実	
特別支援教育の充実	
健康教育の充実	
高校教育・高等教育の充実	
2 青少年の健全育成	14
青少年の健全育成	
3 生涯学習の推進	14
生涯学習の推進	
4 文化・スポーツの振興	15
文化遺産の保護・継承	
芸術・文化の振興	
生涯スポーツの振興	
5 行政評価（参考）	18
その他	22
1 教育委員会の組織	22
2 教育費決算額	23
平成21年度教育費決算額内訳	
教育費決算額の推移	

はじめに

1 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の実施について

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、同法第27条に「教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価等」が規定されました。

この規定により、平成20年4月から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが定められました。

2 点検及び評価の実施方法について

平成22年度に実施する点検及び評価は、平成21年度事業を対象とし、「子どもが輝き、文化が薫る教育のまち」の実現に向け取り組んでいる4項目の政策及び11項目の施策（別記）を推進する事業を整理し、決算及び施策の成果等をまとめるものとします。また、国の考えでは「既に他の方法で点検及び評価を行っている場合は、その手法を活用することも可能である」とされていますので、公表等に際しては、市民に対する行政の説明責任を果たし、よりよい行政サービスを行うことを目的に実施されている和歌山市行政評価システム（別記）を活用するものとします。

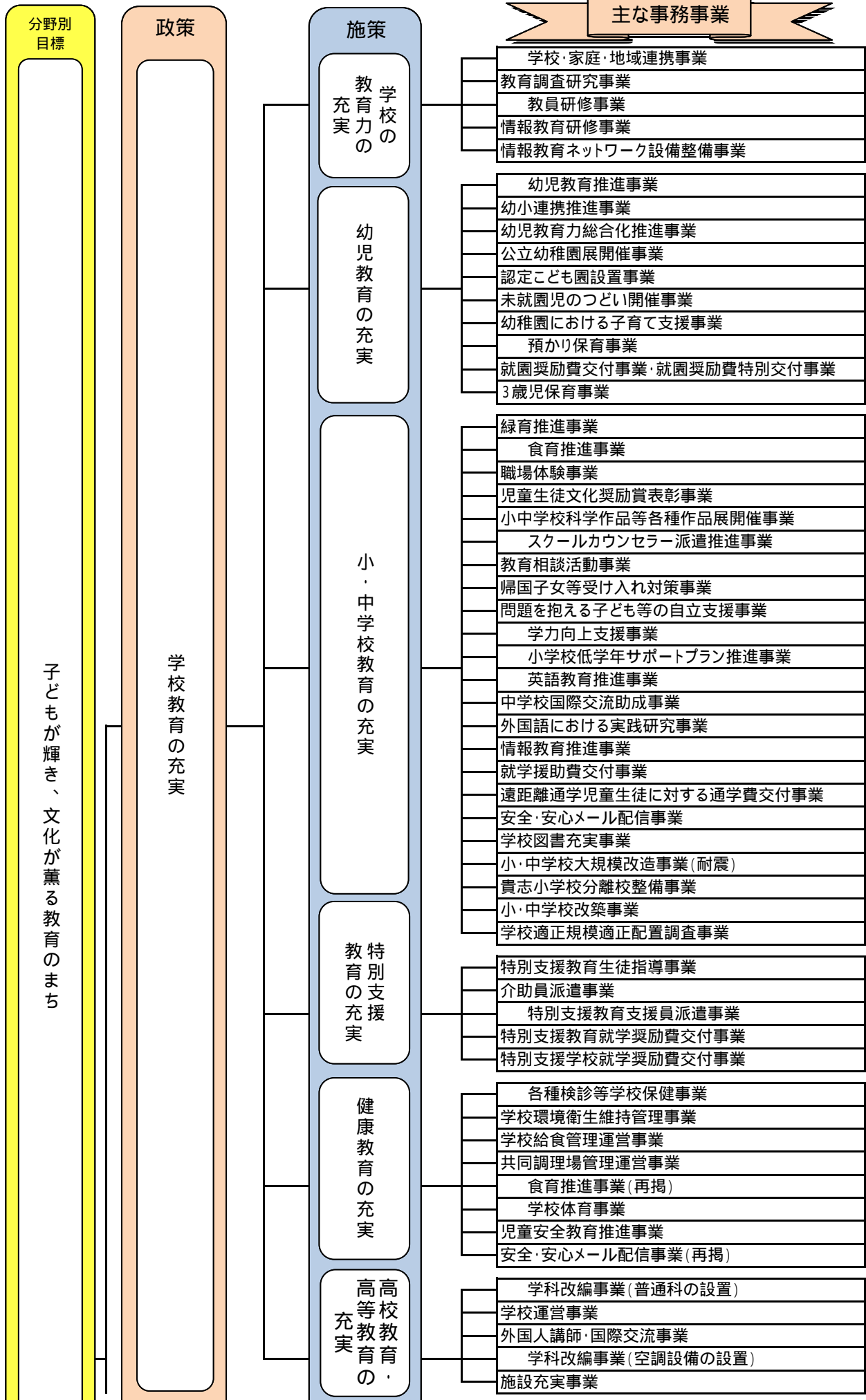
別記

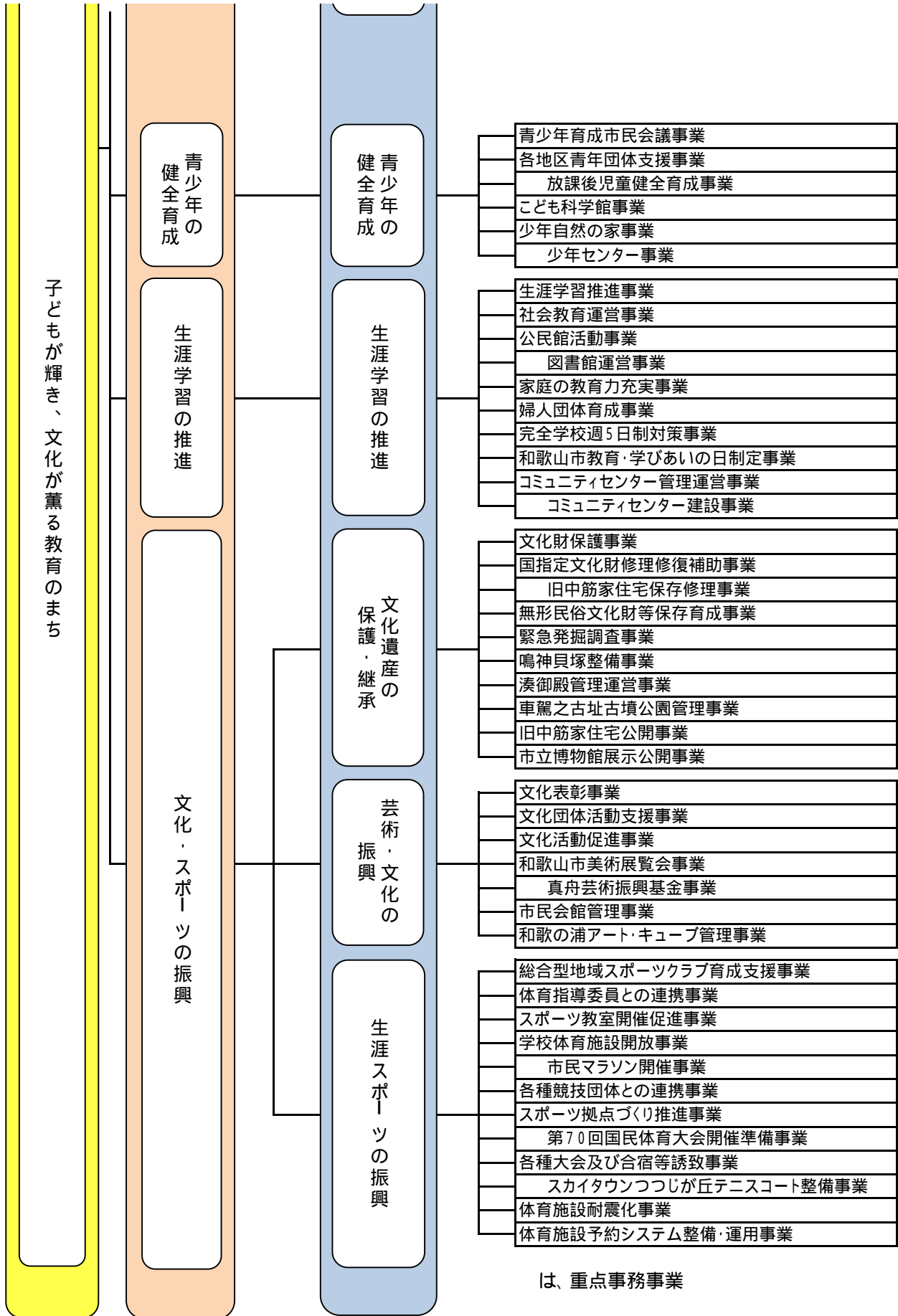
別表 和歌山市教育委員会施策体系のとおり（P2～3）

別記

和歌山市行政評価は和歌山市ホームページで公開しています。

http://www.city.wakayama.wakayama.jp/menu_1/gyousei/hyouka/index.html





この施策体系は、平成20年度策定の第4次和歌山市長期総合計画に基づき作成しています。

平成21年度教育委員会の活動状況

1 平成21年度教育行政方針

子どもが輝き、文化が薫る教育のまち 21世紀を創造する人づくりを目指して

和歌山市で育ち、学ぶことを通して、自然と歴史、文化を愛するとともに、豊かな人間性と創造性を備えた人材の育成を目指す。また、全ての人が生きがいを持ち、相互に連携協力しながら学びあうことのできる活気あふれる教育環境を創出する。

基本目標

- 1 社会の変化に対応し、たくましく生きる力をはぐくむ学校教育の創造
- 2 人格形成の基礎となる家庭教育、地域文化の基盤となる社会教育の創造
- 3 生涯にわたり自己実現を図る生涯学習の振興
- 4 心身の健康保持増進とスポーツの振興
- 5 文化の振興と文化財の保護・活用
- 6 平和で人権を尊重する社会を築くための教育の充実
- 7 多様なニーズに対応する教育施設の充実

2 教育委員

(平成21年10月22日現在)

役職名	氏名	就任年月日	任期
委員長	なかむら ひろし 中村 裕	平成16年 7月 4日	平成20年10月 1日～平成24年 9月30日
委員長職務代行者	みやざき きょうこ 宮崎 恭子	平成14年12月28日	平成18年12月28日～平成22年12月27日
委員	むろ みどり 室 みどり	平成11年 3月29日	平成19年 3月29日～平成23年 3月28日
委員	なかさこ ひろし 中迫 廣	平成17年10月22日	平成21年10月22日～平成25年10月21日
委員(教育長)	おおえ よしゆき 大江 嘉幸	平成19年 8月 1日	平成20年10月 1日～平成24年 9月30日

3 教育委員会会議の開催状況

月日	議案	報告	案件	月日	議案	報告	案件
4月23日	2	2	0	11月 2日	3	0	0
5月12日	4	2	0	12月24日	3	3	0
6月 4日	3	2	0	1月14日	2	4	0
7月 9日	5	1	0	2月 4日	3	3	0
8月 6日	2	5	0	3月11日	6	1	0
9月 2日	1	0	2	3月18日	4	0	0
10月 8日	3	2	0				
計				13回	41件	25件	2件

4 教育委員会会議議決案件

4月23日	和歌山市教育委員会公印規則の一部改正について
	和歌山市指定文化財の指定について
5月12日	平成22年度使用中学校教科書の採択について
	平成22年度使用和歌山市立和歌山高等学校教科書の採択について
	人事案件について
	平成21年度貴志小学校分離校校舎建設工事について
6月4日	和歌山市心身障害児就学指導委員会規則の一部改正について
	平成21年度6月補正予算要求見積書(案)について
	人事案件について
7月9日	社会教育委員の委嘱について
	和歌山市民図書館協議会委員の任命について
	和歌山市立博物館協議会委員の任命について
	平成22年度使用中学校教科書の採択について
	平成22年度使用和歌山市立和歌山高等学校教科書の採択について
8月6日	和歌山市立小学校及び中学校通学区域並びに学校指定に関する規則の一部改正について
	平成22年度和歌山市立和歌山高等学校入学者募集定員及び入学者選抜の概要について
9月2日	平成21年度9月補正予算要求見積書(案)について
10月8日	和歌山市国指定重要文化財旧中筋家住宅管理条例の制定について
	平成21年度和歌山市教育功労者表彰について
	和歌山市立和歌山高等学校平成22年度入学者選抜実施要項について
11月2日	和歌山市コミュニティセンター条例施行規則の一部を改正する規則について
	平成21年度12月補正予算要求見積書(案)について
	平成21年度直川用地複合施設(仮称)新築工事及び新築機械設備工事について
12月24日	和歌山市立学校条例の一部改正について
	平成21年度末教職員人事異動に関する方針について
	和歌山市職員定数条例の改正について
1月14日	和歌山市児童生徒文化奨励賞の受賞者について
	和歌山市立学校条例の一部改正について

2月 4日	和歌山市民図書館協議会委員の任命について
	平成 2 1 年度 2 月補正予算要求見積書（案）について
	平成 2 2 年度教育委員会関連の主要事業（案）について
3月11日	和歌山市教育委員会平成 2 2 年度教育行政方針（案）について
	和歌山市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
	和歌山市教育機関組織規則の一部改正について
	和歌山市教育委員会事務専決規則の一部改正について
	体育指導委員の委嘱について
	人事案件について
3月18日	平成 2 2 年度和歌山市学校教育指針について
	和歌山市教育委員会職員の勤務時間等の特例に関する規則の一部を改正する規則について
	平成 2 1 年度未退職校園長に対する感謝状授与式について
	平成 2 1 年度末教職員人事異動について

5 教育委員会会議以外の主な活動状況

実施日	訪問先・参加行事	内 容
4月10日	市立和歌山高等学校	校歌・校章・校旗披露式
5月12日	移動教育委員会	定例会を市高で開催
6月 5日	県市町村教育委員会連絡協議会定期総会	総会及び講演会
6月 9日	有功東小学校	学校視察（マイクロソフト成果発表会）
7月13日	市長との教育懇談会	教育についての意見交換
8月21日	西和中学校	新校舎竣工式
8月26日	市内視察	つつじヶ丘テニスコート予定地 外
9月3日～4日	県市町村教育委員会連絡協議会夏季研修会	情報交換会（分科会）及び講演会
10月14日	近畿市町村教育委員研修大会	基調講演及びパネルディスカッション
10月16日	市長との教育懇談会	教育についての意見交換
10月28日	宮北、加太小学校	学校視察（小学校教科等別研修会）
11月 1日	市教育・学びあいの日制定記念式典	講演会 外
11月 1日	市教育功労者表彰	式典への参加
11月13日	市文化表彰	式典への参加
11月18日	高松小学校	学校視察（小学校教科等別研修会）
12月19日	市子ども暗唱大会	式典への参加
2月 8日	市児童生徒文化奨励賞表彰	式典への参加
2月21日	県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会	式典等への参加
3月18日	小学校卒業式	式典への参加

委員長	市議会への出席のほか関係各種会議への出席 全国市町村教育委員会連合会関係各種会議への出席 （平成19年5月25日から平成21年5月29日の間、会長を務める）
-----	--



「和歌山市教育・学びあいの日」制定記念式典



移動教育委員会（市高で開催）



学校視察（有功東小学校）



児童生徒文化奨励賞表彰式

6 教育委員会の活動状況の評価

【評価】

定例及び臨時の教育委員会会議の開催に加えて、学校の視察や各協議会への参加など教育現場の状況把握や委員の研修に積極的に取り組むほか、各種行事や式典への出席、首長との懇談など、多岐に渡り活発に活動しています。また、移動教育委員会の開催や、広報誌の発行、教育に関する事務の点検・評価の公表などにより、広報活動に努めています。

【今後の取り組み】

より多くの市民の方々に教育委員会活動を知っていただくため、平成21年度は高等学校において移動教育委員会を開催しましたが、今後も、開かれた教育行政を目指し、学校やコミュニティセンターなどにおいて教育委員会を開催し、市民の傍聴の機会を増やしていきます。また、学校等の視察や教職員との意見交換などを行い、市民や教育現場の意見を十分に反映させるとともに、委員の研修機会の充実を図っていきます。

点検及び評価

(和歌山市教育委員会施策体系に基づき平成21年度に実施した事業の点検及び評価を行いました。)

「評価」の欄は、当該事務事業の目標達成状況を担当課で評価し、A～Dの4段階で表しています。
(A:十分達成できた B:概ね達成できた C:やや不十分である D:不十分である)

分野別 目標	政策	施策	主な事務事業	担当課	点検・評価 (決算額(千円単位)、内容・成果等)	評価
子どもが輝き、文化が薫る教育のまち	1	学校の教育力の充実	学校・家庭・地域連携事業(学校評議員、学校評価等)	教職員課	0円 小・中・高等学校の外部評価委員研修会を開催して委員の研修を深め、学校評価制度を実施した。	A
			学校・家庭・地域連携事業(PTA育成及び活動事業)	生涯学習課	1,210千円 園児・児童・生徒の健全育成のためPTA会員の連携を深め、研修会、スポーツ大会、合唱祭等の連携行事を開催した。	A
			学校・家庭・地域連携事業(きのくに共有コミュニティ推進事業)	生涯学習課	913千円 地域ぐるみで子どもを育て、学校を支援する体制づくりとして、西脇、西浜の各中学校区にコミュニティ本部を設置し、活動を展開した。	A
			教育調査研究事業	学校教育課	925千円 教科・領域や新しい教育課題を研究することにより、学習指導の充実並びに教員の資質向上を図った。	B
			教員研修事業	教育研究所	2,960千円 教員の資質・スキルアップ向上を目指し、各教科・領域に係る基本研修・専門研修を116講座開催した。	B
			情報教育研修事業	教育研究所	2,150千円 情報教育推進員の育成のため、各種情報教育研修等76講座を開催した。	B
			情報教育ネットワーク設備整備事業	教育研究所	35,284千円 教育情報ネットワーク「きいねっと」の拠点として、小・中学校73校がインターネット接続できる情報通信ネットワーク機器を整備し、管理・運用を図った。	B
		幼児教育の充実	幼児教育推進事業	学校教育課	0円 幼稚園教育研究会を設置し、年間4回の会議を開催した。3歳・4歳・5歳の各部会で年間2回の研究保育を実施した。研究のまとめを作成した。	B
			幼小連携推進事業	学校教育課	0円 幼稚園児と小学校児童の交流会、教育課程の編成の連携、教師同士の交流等の推進を図った。	B
			幼児教育力総合化推進事業	学校教育課	0円 保護者の保育参加、子育て井戸端会議、父親の保育参加等の推進に努めた。	B
			公立幼稚園展開催事業	学校教育課	130千円 公立幼稚園展を、平成21年10月、市民会館展示室にて開催した。	B
			認定こども園設置事業	教職員課	14,381千円 認定子ども園を設置した。	A
			未就園児のつどい開催事業	学校教育課	0円 市立幼稚園13園において、未就園児とその保護者の学びや育ちを支える子育て支援の場を提供した。	B

分野別 目標	政策	施策	主な事務事業	担当課	点検・評価 (決算額(千円単位)、内容・成果等)	評価
子どもが輝き、文化が薫る教育のまち	1 学校教育の充実	幼児教育の充実	幼稚園における子育て支援事業	学校教育課	0円 未就園児のつどいの開催時に子育て相談を実施し、子育て支援の充実に貢献した。	B
			預かり保育事業	教職員課	11,970千円 市立幼稚園13園で実施。10園は1時間、1園は1時間半、2園は3時間、預かり保育を実施した。	B
			就園奨励費交付事業・就園奨励費特別交付事業	学校教育課	241,949千円 就園奨励費交付金を交付することにより、幼稚園教育が円滑に行われ、子育て支援の充実に貢献した。	A
			3歳児保育事業	教職員課	11,614千円 市立幼稚園12園で実施。保育補助として6人を配置した。	A
		緑育推進事業	学校教育課	3,846千円 緑育に関する体験学習を実施することにより、生きる力を育み、豊かな人間性を育てることに貢献した。	B	
		食育推進事業	保健給食管理課 学校教育課	41千円(保健給食管理課) 文部科学省「子どもの健康を育む食育推進事業」を受託し、学校・家庭・地域が連携して取り組む食育の在り方の研究を進めた。	A	
		職場体験事業	学校教育課	1,113千円 市内全中学校2年生が地域の事業所において職場体験を実施し、健全な職業観を身につけた。	A	
		児童生徒文化奨励賞表彰事業	学校教育課	58千円 児童生徒の文化活動への取組を奨励することにより、情操教育を推進することができた。	A	
		小中学校科学作品等各種作品展開催事業	学校教育課	982千円 作品等の公開を通じて、市民及び保護者の教育への関心を高めると共に、児童生徒の豊かな人間性や創造性を育む教育の推進に貢献した。	A	
		スクールカウンセラー派遣推進事業	学校教育課	3,294千円 不登校になる可能性のある児童や保健室登校の児童への対応、保護者・教員とのカウンセリングを行い、心身ともに健康な児童の育成に貢献した。	B	
		教育相談活動事業	子ども支援センター	14,613千円 子ども、保護者、教職員の相談に応じることによって教育の諸問題の解決と学校教育の活性化をめざし、支援を行った。	B	
		帰国子女等受け入れ対策事業	子ども支援センター	141千円 帰国子女や外国籍で日本語がうまく話せない児童・生徒の日本語指導をサポートすることにより、日常生活及び学校生活での学習充実等が図れた。	B	
		問題を抱える子ども等の自立支援事業	学校教育課	922千円(学校教育課) 595千円(子ども支援センター) 不登校生のためのふれあい教室を設置し、保護者・学校と連携を図りながら、子どもへの支援を行った。	B	
		学力向上支援事業	学校教育課	11,666千円 巡回指導員による学習支援を実施することにより、基礎学力が充分身につけていないと思われる地域の児童生徒の学力向上に寄与した。	B	

分野別 目標	政策	施策	主な事務事業	担当課	点検・評価 (決算額(千円単位)、内容・成果等)	評価
子どもが輝き、文化が薫る教育のまち	1 学校教育の充実	小・中学校教育の充実	小学校低学年サポートプラン推進事業	教職員課	26,242千円 小学校低学年で1クラスが38人に近い学級がある学校に補助教員を配置し、児童一人ひとりの状況に応じた個別指導体制を充実した。	A
			英語教育推進事業	学校教育課	21,438千円 外国人講師とのチームティーチングを実施することにより、英語に慣れ親しむと共に、国際理解を深めることができた。	B
			中学校国際交流助成事業	学校教育課	隔年実施のため21年度は実施せず。	-
			外国語活動における実践研究事業(国際理解活動推進事業から移行)	学校教育課	350千円 小学校1校の5・6年生に対し、担任がALTを有効に活用しながら、国際的な感覚を養い、英語に慣れ親しむことに貢献した。	B
			情報教育推進事業	教育総務課 教育研究所	小学校:117,849千円 中学校: 68,287千円 小・中学校に学習用パーソナルコンピュータを導入し、情報教育の推進に貢献した。	B
			就学援助費交付事業	学校教育課	105,896千円 経済的理由により就学困難な児童生徒に対して、就学援助費を支給することにより、心身ともに健康な児童生徒の育成に貢献した。	B
			遠距離通学児童生徒に対する通学費交付事業	学校教育課	62千円 遠距離通学生徒に対し、旅客運賃相当額を交付することにより、円滑な学習の確保に資することができた。	A
			安全・安心メール配信事業	学校教育課	600千円 不審者等の情報を配信することにより、園児・児童・生徒の安全確保に貢献した。	B
			学校図書充実事業	教育総務課	小学校: 16,900千円 中学校: 8,496千円 標準冊数に対する蔵書数は小学校で109.1%、中学校で112.8%を達成することができた。	A
			小・中学校大規模改造事業(耐震)	教育施設課	小学校: 1,074,180千円 中学校: 147,056千円 小学校1校,中学校2校の耐震診断、小学校8校,中学校1校の耐震設計、小学校10校,中学校1校の耐震補強工事を行った。	A
			貴志小学校分離校整備事業	教育施設課	貴志小学校分離校建設工事前払金:10,000千円 建設中	A
			小・中学校改築事業	教育施設課	大新小学校校舎改築基本設計: 8,537千円 東和中学校校舎及び体育館耐力度調査: 3,213千円 西和中学校改築工事: (含事務費) 414,984千円	A
学校適正規模適正配置調査事業	教育総務課	464千円 和歌山市立学校適正規模適正配置調査検討委員会を4回開催し、平成22年2月に答申をいただくことができた。	A			

分野別 目標	政策	施策	主な事務事業	担当課	点検・評価 (決算額(千円単位)、内容・成果等)	評価
子どもが輝き、文化が薫る教育のまち	1 学校教育の充実	特別支援教育の充実	特別支援教育生徒指導事業	学校教育課	759千円 障害のある子どもに対して、効果的な支援をすることにより、それぞれのニーズに合わせた適切な教育ができた。	B
			介助員派遣事業	学校教育課	20,573千円 肢体に不自由のある児童生徒に対し、移動や学習活動での介助を行うことにより、安全かつ円滑な学校生活を保障した。	A
			特別支援教育支援員派遣事業	学校教育課	10,068千円 日常生活動作の介助、学習活動上のサポートを行う特別支援教育支援員を5人配置することにより、障害のある子どもに対して効果的な支援を行うことができた。しかし、支援の必要な子どもは各学校に多数在籍し、一層の増員が必要である。	C
			特別支援教育就学奨励費交付事業	学校教育課	3,920千円 特別支援学級在籍児童生徒の就学に係る保護者の経済的負担を軽減することにより、特別支援教育の振興を図れた。	B
			特別支援学校就学奨励費交付事業	学校教育課	675千円 特別支援学校在籍児童生徒の就学に係る保護者の経済的負担を軽減することにより、特別支援教育の振興を図れた。	B
		健康教育の充実	各種検診等学校保健事業	保健給食管理課	29,622千円 健康診断を実施し、児童生徒の健康状態を把握。保健管理や健康教育等を通して課題解決に役立てた。	A
			学校環境衛生維持管理事業	保健給食管理課	54,590千円 子どもたちの健康を保持増進し、学習能力の向上を図るため、プールの水質検査、貯水槽清掃及び浄化槽保守点検等、安全かつ快適な学習環境を作り上げることに努めた。	A
			学校給食管理運営事業	保健給食管理課	219,664千円 市立小学校44校において年間190日の給食を実施。市内産米を使用して週3回の米飯給食、行事食や郷土食を取り入れ、食文化の伝承に努めた。また、円滑な給食実施のために、設備等の管理充実に努めた。貴志・貴志南小学校においては、給食調理等業務委託を実施した。	A
			共同調理場管理運営事業	保健給食管理課	232,012千円 市立小学校8校において年間190日の給食を実施。円滑な給食実施のために、設備等の管理充実に努めた。	A
			食育推進事業(再掲)	保健給食管理課 学校教育課	41千円(保健給食管理課) 文部科学省「子どもの健康を育む食育推進事業」を受託し、学校・家庭・地域が連携して取り組む食育の在り方の研究を進めた。	A
	学校体育事業		体育振興課	40,842千円 夏・秋の中学校総合体育大会の開催や、全国高等学校総合体育大会(体操・新体操及びヨット)の開催を補助することで、青少年の健全育成と体力向上に寄与することができた。	B	
	児童安全教育推進事業		学校教育課	2,565千円 CAPプログラムによる講習会により、子ども本人が危険から回避できるような知識や方法を学ぶことができた。	B	
	安全・安心メール配信事業(再掲)		学校教育課	600千円 不審者等の情報を配信することにより、園児・児童・生徒の安全確保に貢献した。	B	

分野別 目標	政策	施策	主な事務事業	担当課	点検・評価 (決算額(千円単位)、内容・成果等)	評価
子どもが輝き、文化が薫る教育のまち	1 学校教育の充実	高校教育・高等教育の充実	学科改編事業(普通科の設置)	市高	2,231千円 普通科が設置され、外部講師による補習等を行い、教育の充実を図った。	A
			学校運営事業	市高	659,385千円 学校関係職員の人権費の支出及び学校施設の維持管理及び物品購入を行い学校運営を行なった。	B
			外国人講師・国際交流事業	市高	4,360千円 外国人講師を招致し、生徒の英会話能力の向上を図ることができた。	A
			学科改編事業(空調設備の設置)	市高	0円 空調設備の設置が完了し、教育環境が整った。	A
			施設充実事業	市高	1,799千円 教材・教具の設備充実を図った。	B
	2 青少年の健全育成	青少年の健全育成	青少年育成市民会議事業	青少年課	430千円 各関係団体との連携がとれ、青少年健全育成に貢献した。	B
			各地区青年団体支援事業	青少年課	1,220千円 青少年の健全育成並びに青年団活動の支援に努め、青少年の育成の環境づくりに貢献した。	B
			放課後児童健全育成事業	青少年課	146,541千円 保護者の監護に欠ける児童の健全育成を図った。	B
			こども科学館事業	こども科学館	71,933千円 プラネタリウムの投影、野外・天体観察会、各種実習教室など普及事業を実施することによって青少年の健全育成のための環境整備をすることに貢献できた。	A
			少年自然の家事業	少年自然の家	81,325千円 施設の維持管理、設備の整備、運営等の事業を実施し、利用者が安心・安全に活動できる状態を維持した。また、利用団体に様々な活動指導や生活指導等の支援を行うとともに、18の主催事業を実施した。	A
			少年センター事業	少年センター	6,359千円 少年補導委員会の運営と、委員相互の連絡調整をはかるとともに、環境浄化、少年非行防止及び啓発活動等を行った。	A
	3 生涯学習の推進	生涯学習の推進	生涯学習推進事業	生涯学習課	1,074千円 生涯学習の総合的かつ効果的な推進を図るために、生涯学習推進協議会を2回、生涯学習推進員研修会を1回、生涯学習セミナーを1回開催した。	A
			社会教育運営事業	生涯学習課	333千円 社会教育行政の協議の場として、社会教育定例会議を3回開催し、社会教育・生涯学習の振興につながった。	A
			公民館活動事業	中央公民館	22,136千円 中央公民館では、全市学習圏の生涯学習拠点として、同館の管理運営事業と各種学習事業等を実施した。また、校区学習圏の中心的拠点としての、市内42地区公民館では、地域色豊かな活動が展開された。	A

分野別 目標	政策	施策	主な事務事業	担当課	点検・評価 (決算額(千円単位)、内容・成果等)	評価
子どもが輝き、文化が薫る教育のまち	3 生涯学習の推進	生涯学習の推進	図書館運営事業	市民図書館	215,559千円 資料を計画的に収集・保存・提供して図書館サービスを効率的に行うことにより、市民の読書活動の推進及び生涯学習を支援することができた。	B
			家庭の教育力充実事業	生涯学習課	5,814千円 乳幼児とその保護者を対象として、子育てを支援するため、「子育てひろば」を市内6会場で開催した。(計101回)	A
			婦人団体育成事業	生涯学習課	2,405千円 和歌山市婦人団体連絡協議会に事業を委託し、社会の変動に対応することのできる婦人団体を育成し、明るく住みよい和歌山市の建設に資することができた。	A
			完全学校週5日制対策事業	生涯学習課 学校教育課	12,090千円(生涯学習課) 52の小学校区子どもセンターで、休業土曜日等における自然体験や社会体験等の機会を提供するとともに、適宜、学校開放事業も実施した。このうち、28の子どもセンターでは土曜教室を開催し、学力向上の機会を提供した。	A
			和歌山市教育・学びあいの日制定事業	生涯学習課 学校教育課 教育総務課	30千円(生涯学習課) 11月1日を「和歌山市教育・学びあいの日」として制定した。また、記念式典を開催し、市民への周知を図った。	B
			コミュニティセンター管理運営事業	生涯学習課	207,323千円 市民の生涯学習及び地域活動の振興を図るため、コミュニティセンター5ヵ所の運営事業を実施した。センター自主事業は、68講座を開催した。また、和歌山市施設公共案内・予約システムを導入し施設利用の利便性向上を図った。	A
			コミュニティセンター建設事業	生涯学習課	255,840千円 市民の生涯学習及び地域活動の振興を図るため、直川用地公共的施設区画にコミュニティセンター機能を有する複合施設の建設を進めることができた。(平成19年度～23年度)	A
	4 文化・スポーツの振興	文化遺産の保護・継承	文化財保護事業	文化振興課	4,307千円 文化財保護委員会の開催(年1回)をはじめとして、文化財に関する説明板の設置、文化財(大谷古墳等)の適正な維持管理など文化財の保護活用を図った。	A
			国指定文化財修理修復補助事業	文化振興課	78千円 和歌山市内に存在する国指定文化財1件に対して補助金の交付を行った。 交付先：養翠園	A
			旧中筋家住宅保存修理事業	文化振興課	82,674千円 国指定重要文化財旧中筋家住宅の解体修理を完了し、修理工事報告書を刊行した。事業進捗率は100%で、歴史的建造物の保全を図ることができた。	A
			無形民俗文化財等保存育成事業	文化振興課	60千円 無形文化財保護育成のために3団体に補助金を交付した。 交付先：岡崎団七踊保存会、岩倉流泳法保存会、木ノ本の獅子舞保存会	A
			緊急発掘調査事業	文化振興課	5,137千円 文化財保護法に基づき、埋蔵文化財包蔵地内における開発に対して75件の立会確認と46件の確認調査と5件の本発掘調査により、遺跡の実態確認を行った。	A
			鳴神貝塚整備事業	文化振興課	6,715千円 国指定史跡鳴神貝塚の土地を直接買上げ、来年度購入予定地にある建物の損失補償費を予算計上するため建物調査を実施した。	A
湊御殿管理運営事業	文化振興課	20,618千円 市指定文化財湊御殿を一般公開するため管理運営をおこなった結果、1,994人の観覧者があった。	A			

分野別 目標	政策	施策	主な事務事業	担当課	点検・評価 (決算額(千円単位)、内容・成果等)	評価
子どもが輝き、文化が薫る教育のまち	4 文化・スポーツの振興	文化遺産の保護・継承	車駕之古址古墳公園管理事業	文化振興課	3,207千円 県指定文化財である車駕之古址古墳公園の維持管理のため、植栽や清掃など公園の管理を行った。	A
			旧中筋家住宅公開事業	文化振興課	21,489千円 旧中筋家住宅の公開に必要な展示備品を購入し、主屋をはじめ表門・北蔵・長屋蔵の展示パネル・サイン・模型等を製作・展示し、来年度からの一般公開の準備を行った。	A
			市立博物館展示公開事業	博物館	8,409千円 2回の特別展「写真にみる戦後の和歌山」、「南方熊楠の世界」の開催、徳川斉順・斉彊一行書2幅1組等博物館資料の購入により、個性ある地域文化の推進に寄与した。	A
		芸術・文化の振興	文化表彰事業	文化振興課	2,050千円 和歌山市の文化の向上発展に顕著な功績のある個人4名と1団体を表彰した。 文化賞1名、文化功労賞2名、文化奨励賞1名1団体	A
			文化団体活動支援事業	文化振興課	831千円 和歌山市の文化の振興と向上のため9団体の運営活動を支援した。	A
			文化活動促進事業	文化振興課	5,393千円 和歌山市の文化の振興と向上のため8つの事業を開催した。 主催事業 5 支援事業 3	A
			和歌山市美術展覧会事業	文化振興課	3,715千円 洋画、日本画、書道、写真、彫塑、工芸、いけ花の7部門の作品588点を部門別に審査し、市長賞をはじめとした6つの各賞を授与した。市民会館にて4会期に分けて展示した。	A
			真舟芸術振興基金事業	文化振興課	6,685千円 真舟芸術振興基金を活用し、指導者・後継者事業、研究発表事業、芸術家派遣・招聘事業、芸術振興事業を実施した。延べ1,800人程度が参加した。	A
			市民会館管理事業	文化振興課	180,623千円 和歌山市の文化活動の拠点である市民会館の(財)和歌山市都市整備公社を指定管理者とする管理運営。施設利用者は約25万人。自主事業33を開催し、延べ1万人程度が参加した。	A
			和歌の浦アート・キューブ管理事業	文化振興課	48,106千円 和歌山市民の芸術活動の創造発信の拠点であるアート・キューブの管理運営。施設利用者は約3万人。開催した15の自主事業には、延べ1,000人程度が参加した。	A
		生涯スポーツの振興	総合型地域スポーツクラブ育成支援事業	体育振興課	0円 総合型地域スポーツクラブ数 6団体 (平成21年度末現在)	B
			体育指導委員との連携事業	体育振興課	1,599千円 新春つれもて歩こう走ろう会やふれあいスポーツ教室を開催することにより、生涯スポーツの振興やニュースポーツの普及に寄与した。	B
			スポーツ教室開催促進事業	体育振興課	329千円 市民1,153名が参加して生涯スポーツの振興とスポーツ人口の増加に寄与した。	B
			学校体育施設開放事業	体育振興課	12,116千円 地域住民にスポーツの場を提供し、市民のスポーツ振興を図る。多くの地域住民が、スポーツを楽しむことができ、地域の体育振興に役立った。	B

分野別 目標	政策	施策	主な事務事業	担当課	点検・評価 (決算額(千円単位)、内容・成果等)	評価
子どもが輝き、 文化が薫る教育のまち	4 文化・スポーツの振興	生涯スポーツの振興	市民マラソン開催事業	体育振興課	6,870千円 10月25日に開催された09和歌浦ベイマラソンwithジャズは、10,945名のエントリーがあり、和歌山市のPR及び地域経済の活性化にも寄与できた。	A
			各種競技団体との連携事業	体育振興課	2,648千円 各種競技団体と連携して、生涯スポーツ交流大会やジュニアサッカー教室、障害者卓球大会を開催することにより、青少年の健全育成やスポーツの振興に寄与した。	A
			スポーツ拠点づくり推進事業	体育振興課	5,000千円 競技団体と連携して、U-12セーリングチャンピオンシップ全国大会を開催することにより、青少年の健全育成やスポーツの振興に寄与した。	B
			第70回国民体育大会開催準備事業	体育振興課	平成22年度から企画課において準備。	-
			各種大会及び合宿等誘致事業	体育振興課	4,000千円 世界のトップレベルの大会である国際卓球選手権大会を受け入れたことにより、青少年の健全育成や国際交流に寄与した。	B
			スカイタウンつつじが丘テニスコート整備事業	体育振興課	8,385千円 スカイタウンつつじが丘内にテニスコートを整備するため、基本設計(土木)を実施した。	B
			体育施設耐震化事業	体育振興課	7,298千円 松下体育館の煙突解体撤去工事を実施した。	A
			体育施設予約システム整備・運用事業	体育振興課	1,524千円 施設の総予約件数のうち約35%が予約システムによるものであり、利用者の増加や利便性の向上に寄与した。	A

5 行政評価（参考）

< 和歌山市行政評価委員会意見書から抜粋 >

外部評価の欄の見方：

A 重点的（優先的）に取り組む必要あり	C 1 計画見直し
B 計画どおり事業を進めることが妥当	C 2 終期設定
C 見直しのうえで継続	C 3 受益者負担の適正化
D 終了	C 4 類似事業との統合
E 休止	C 5 外部委託導入・拡大
F 廃止	C 6 コスト削減・成果上昇
	C 7 その他効率化

事務事業	所管課	外部評価
青少年育成市民会議事業 （ことなかよしまつり、少年のつどいなど）	青少年課	C 1
行政評価委員会の意見 【見直し・改善提案】	<p>少子化が進行しているだけに、当事業の果たす役割は、極めて重要である。</p> <p>イベントを主催するだけでなく、事業目的が更に具現化できるように工夫するとともに、33団体（自治会連絡協議会、婦人会、ボーイスカウト、ガールスカウト等）や青少年問題協議会とも連携し、和歌山市の青少年をどうするのか指針を出していく必要がある。</p>	

事務事業	所管課	外部評価
青少年問題協議会事業	青少年課	C 1
行政評価委員会の意見 【見直し・改善提案】	<p>単に「表彰」のための事業に終わることなく、子どもを巡る今日的課題について、委員会で問題提起や提案をしていただき、それを「青少年育成市民会議」「地域活動連絡協議会」などの団体と連携し事業化するなど、市民との協働事業としてより効果的な運営に努められたい。</p>	

事務事業	所管課	外部評価
地域組織活動費補助事業	青少年課	C 1
行政評価委員会の意見 【見直し・改善提案】	<p>事業の展開方針のところ、「少子化によるクラブの自然消滅を防止すること」を挙げているが、その地域に対するフォローを含む全体的な活動の展開が図れるよう、単なる補助事業としてではなく、関連する事業を統括し、その推進策を再検討すべきである。</p> <p>人件費について、今の事業で3人分なぜ必要なのか疑問である。</p>	

事務事業		所管課	外部評価
各地区青年団体支援事業		青少年課	C 1
行政評価委員会の意見 【見直し・改善提案】	各青年団体に対する補助事業であるが、各々の団体の活動内容が明確ではなく、その成果が不明である。 市民に対して活動内容を明確にし、地域におけるボランティア活動を紹介することにより「青少年の健全育成や子育て支援」に対する市民の意識の向上と協力を求めるべきである。		

事務事業		所管課	外部評価
放課後児童健全育成事業（若竹学級）		青少年課	C 3
行政評価委員会の意見 【見直し・改善提案】	他の「子育て」部門との連携を一層強化し、少子化や核家族化により適切に対応できるよう、「子育てしやすい街」づくりに向け、事業の「見直し」「改善」を図りたい。 保育料については、現在無料となっているが、教室へのエアコン等の設置の際は、有料とする必要があり、施設の充実とともに検討すべきである。 現在委託している「母子寡婦福祉連合会」以外の団体も参画できるように門戸を開いてもよいのではないのか。		

事務事業		所管課	外部評価
放課後児童健全育成事業（民間保育園）		青少年課	B
行政評価委員会の意見 【見直し・改善提案】	民間保育園の保育料、保育内容、保育時間等の運営ノウハウを把握し、「若竹学級」への活用を積極的に図りたい。		

事務事業		所管課	外部評価
あしのは学級事業		青少年課	C 4
行政評価委員会の意見 【見直し・改善提案】	当面は、計画どおり事業をすすめるとしても、学力向上施策の一面もあるということから、学力向上は別施策で芦原地区全体で考えるべきである。 放課後児童対策としては、「若竹学級」と統合を図るべきである。		

事務事業	所管課	外部評価
放課後児童健全育成事業（放課後子ども教室）	生涯学習課	C 7
行政評価委員会の意見 【見直し・改善提案】	将来的には「若竹学級」へ移行する計画であるが、事業の効率化を図りたい。	

事務事業	所管課	外部評価
こども科学館管理事業	学校教育課	B
行政評価委員会の意見 【見直し・改善提案】	施設の老朽化で更新を希望しているが、市民に対してその必要性を認識させる努力が必要であり、先進都市の取組みや、場合によっては民間企業、市民の協力を求めることが必要である。	

事務事業	所管課	外部評価
こども科学館運営事業	学校教育課	A
行政評価委員会の意見 【見直し・改善提案】	市内の小学校52校中28校が利用しているとのことであるが、学校行事としての活用や教科に取り入れたり、学校教育における位置付けを明確にする必要がある。 子どもたちの理系離れが進む中、技術立国を支える人材育成のため、より積極的な事業の展開をすすめるべきである。	

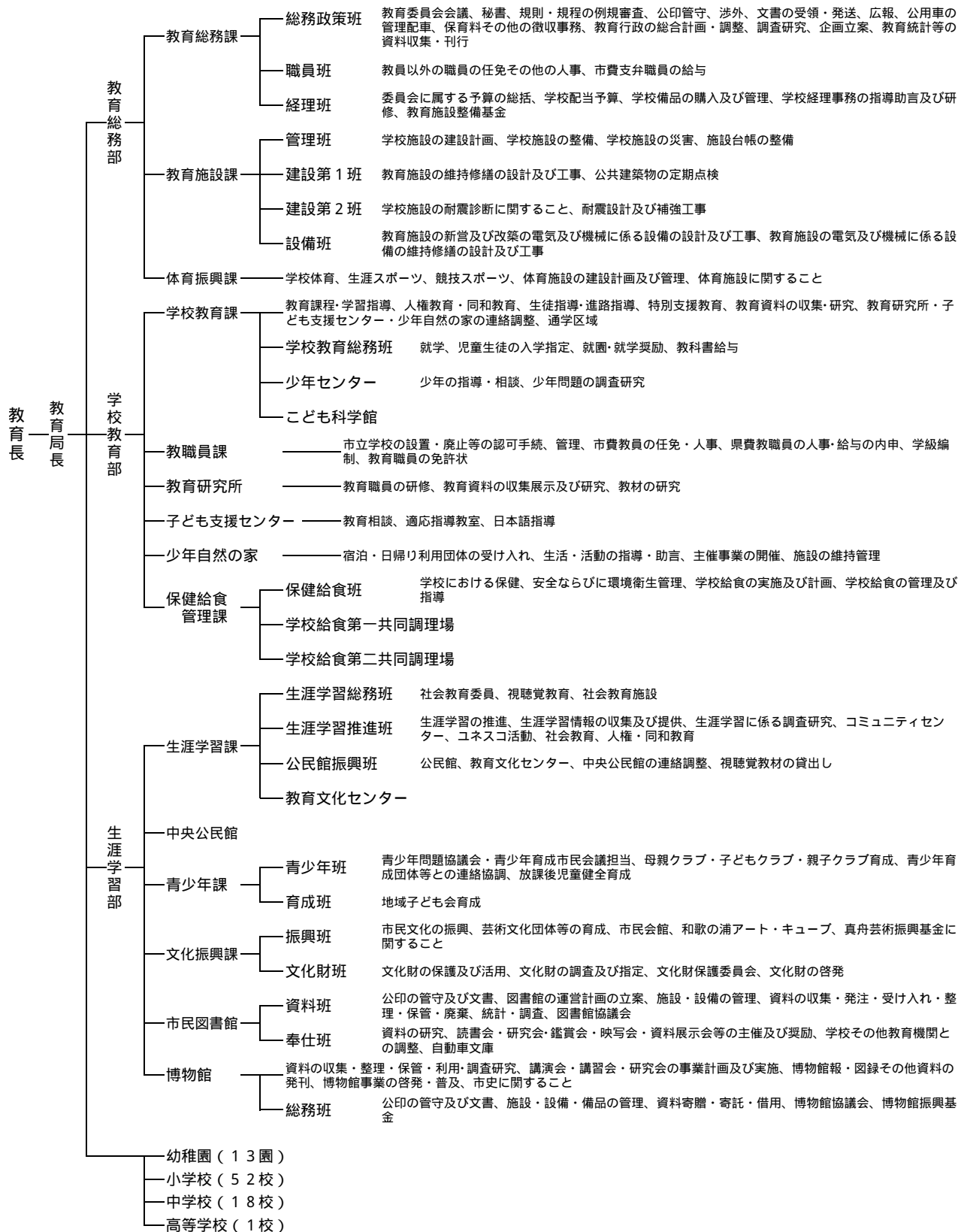
事務事業	所管課	外部評価
少年自然の家管理事業	学校教育課	B
行政評価委員会の意見 【見直し・改善提案】	施設の老朽化は、利用する子どもたち等への安全を確保するためにも関係課と連携を密にし、対応を検討されたい。	

事務事業	所管課	外部評価
少年自然の家運営事業	学校教育課	B
行政評価委員会の意見 【見直し・改善提案】	自主事業の一層の工夫とより積極的な広報活動に努められたい。	

事務事業	所管課	外部評価
少年センター事業	学校教育課	B
行政評価委員会の 意見 【見直し・改善提案】	情報過多や価値観の多様化の中で、子どもたちの健全育成に向けて、これまで以上にNPOや関係各機関との連携を密にし、事業の「見直し」「改善」を図りたい。 事業の効果をより高めるため、情報機器の整備を計画的にすすめられたい。	

その他

1 教育委員会の組織 (平成21年4月1日現在)



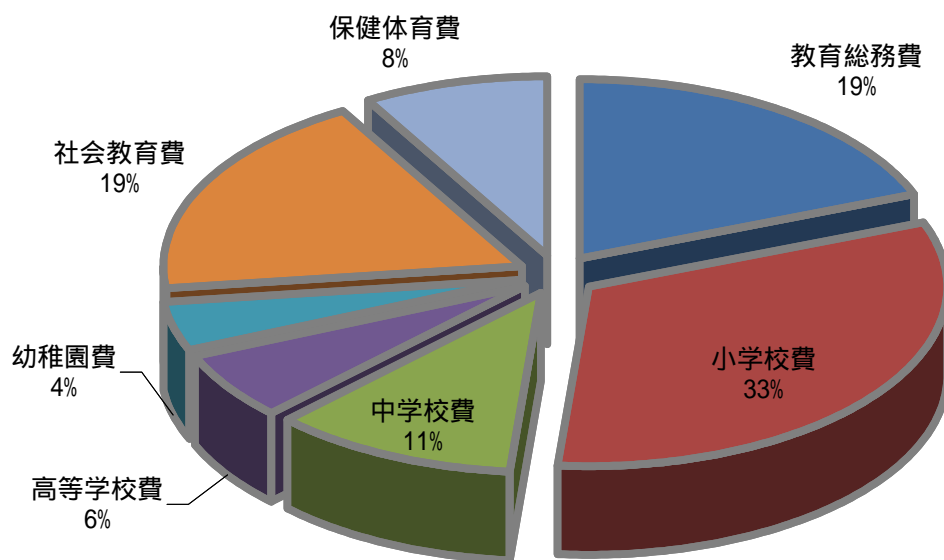
指定管理者制度導入の教育機関施設

- | | |
|--------------|--------------|
| 市民会館 | 東部コミュニティセンター |
| 和歌の浦アート・キューブ | 河南コミュニティセンター |
| 松下体育館 | 河西コミュニティセンター |
| 市民体育館 | 河北コミュニティセンター |
| 市民テニスコート | 中央コミュニティセンター |
| 河南総合体育館 | |
| 市民温水プール | |
| 市民スポーツ広場 | |

2 教育費決算額

平成21年度教育費決算額内訳

項	金額(千円)	対前年度比増減 (千円)	対前年度 伸び率(%)
教育総務費	2,029,525	-58,198	-2.8
小学校費	3,394,367	383,575	12.7
中学校費	1,150,398	-145,121	-11.2
高等学校費	668,353	-286,066	-30.0
幼稚園費	464,656	34,012	7.9
社会教育費	1,960,510	-94,598	-4.6
保健体育費	868,512	-2,082,981	-70.6
計	10,536,321	-2,249,377	-17.6



教育費決算額の推移

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
教育総務費	2,346,942	2,362,112	2,537,913	2,087,723	2,029,525
小学校費	2,923,616	3,357,966	3,570,413	3,010,792	3,394,367
中学校費	786,762	1,509,042	1,205,110	1,295,519	1,150,398
高等学校費	751,366	751,302	735,348	954,419	668,353
幼稚園費	537,181	495,568	460,419	430,644	464,656
社会教育費	2,179,831	1,969,670	1,875,437	2,055,108	1,960,510
保健体育費	902,205	918,823	900,264	2,951,493	868,512
計	10,427,903	11,364,483	11,284,904	12,785,698	10,536,321